

忠誠へ公勲ヤ、眞みやゝ筆農ニ通キスモモ自強モ能ガヨ此事新辟頭題
海事國政實支拂督題モ翻轉難處スルモ其ニ費官制設經略總裁ニ極也

第五章　間島ニ於ケル我警察權行使ニ關スル方針

大正四年滿蒙ニ關スル日支新條約成立ニ伴ヒ帝國ニ於テ間島協約ノ一部カ新條約ニ依リテ當然失效セルモノト解シ間島在住朝鮮人ニ對シ一律ニ我法權ヲ及ホスノ方針ヲ執リタル結果支那政府ハ間島全人口ノ約八割ヲ占ムル朝鮮人ニシテ悉ク我節度ニ服スルニ至ラハ我勢力必然同地方ニ急侵シ終ニ間島協約ニ依リ獲得セル領土權ヲ有名無實ナラシムルニ至ルヘキヲ憂慮シ其ノ對抗策トシテ一面帝國政府ニ向テ法理上ヨリ間島協約カ新條約ニ依リ何等影響ヲ受ケサルコトヲ强硬ニ主張スルト同時ニ他面朝鮮人ニ對スル各種ノ施設ニ依リ其ノ勢力ノ維持ニ腐心スルニ至レリ其ノ著例ヲ舉クレハ次ノ如シ

(一) 腐化鮮人ニシテ名望アル者ヲ辦事員ニ任命シ各地ニ配置シテ教育

其他地方行政ヲ助ケシムル外鮮人間ノ紛争和解等ヲ掌テシメ且
支人ヲシテ成ルヘク支那ノ法權ニ服スル様勸誘セシメタリ又從來鮮
人間ノ紛争ニ對シテハ兎角支那人側ニ有利ノ措置ヲ爲ス傾向ア
リタルヲ改メテ正當ノ理由アルモノハ鮮人ノ主張ヲ容レ且敏速ニ
判決ヲ與フル等鮮人一般ノ人心收攬ニ意ヲ用ヒタリ

教育ヲ強制スルノ方針ヲ採ルト共ニ變通改良私塾辨法ヲ設ケ私塾ニ對シ一定ノ取締ヲ爲シ且相當ノ補助金ヲ下附スルコトトシ尙支那官立學校ニシテ鮮人兒童ヲ收容スルモノニ對シテハ學識人望アル教員ヲ撰擇スル等之カ擴張ニ意ヲ用ヒ同時ニ鮮人私立學校ニシテ前記教育辨法ニ從ハサルモノニ對シテハ極力壓迫ヲ加ヘ其ノ閉

モ諸種勞資幹部ニ就カセサセテ重擔モハ既に擔用ヤ時ヘ其ノ間
以財物ヲ難轍又其勞作を甚めニ意を用ヒ居御ヨ蓋バ既立舉烈ニシ
獨官立學製ニモテ輸入強奪ヤ財資不ムキニ變モテハ學費入學生
ニ拂マ一張ノ學券ヤ甚ル且取當ヘ尙固金乞不圖スルロトニ而支
持財ヲ難轍スルハ次第マ財火ト共ニ變遷如其聲譽難々難モ殊壁
口街樹齋塾學人ニ接セ體一體與達會義者モムシヘニ難モキ文張驕氣
辨識マ無マ此學識人一體ノ人心尊賢ニ意ヲ顯ニスリ

其後以マ猶久モ正當ノ體制アリキヘハ輸入ヘ主張タ密ナ且競選ニ
寔人間ヘ當年ニ拂ムモハ原資支那人樹立本院ノ計議マ復ス財團て
人ニモモニ斯ルヘモ支那ヘ考課ニ雖スル然眞誠御みシ又莫來接
其身與式音頗モ曲でモル其長範人間ヘ當年時體學ノ事モソク且競

鎖ヲ強制シタリ

(三)公然新聞紙上ニ廣告シテ鮮人ノ歸化ヲ懲誣シ或ハ土地所有權ニ關
シ歸化セル者ニ對シテハ便益ト保護ヲ與フルニ不拘歸化セサル者
ニ對シテハ種々ノ口實ヲ設ケテ之ヲ妨害スル等ノ方法ニ依リ極力
鮮人ノ歸化ヲ勸誘セリ

(四)局子街醫院ニ熟達セル鮮人醫師ヲ傭聘シテ鮮人ノ治療ニ當ラシメ
貧困者ニハ施療ヲ爲ス等ノ方法ニ依リ社會的施設又ハ慈善的方面
ヨリモ鮮人懷柔ニ意ヲ用ヒタリ

被告人ヲ庇護シ甚シキニ至リテハ我警察官カ刑事被告人押送ノ途
中之カ奪取ヲ試ムル等ノ行動ニ出テタリ
右ニ對シ我方ニ於テハ法理上間島協約ノ效力存續スルモノナリトノ
支那側主張ヲ論駁スルト共ニ前記支那側鮮人懷柔策ニ對抗スル爲領
事館ノ裁判制度ヲ改善シ鮮人教育機關ヲ充實シ其ノ他衛生・金融・
產業等各方面ニ向ツテ適切ナル施設ヲ爲シ以テ鮮人ノ安定ニ資スル
ノ策ニ出ツルト共ニ理論上モ實際上モ支那側ノ妨害ヲ嚴ニ排除スル
ノ態度ニ出テタルヲ以テ結局支那側ニ於テモ此上執拗ニ我法權ノ行
使ニ妨害ヲ加フルノ無益ナルヲ悟リタルモノノ如ク大正五年六月頃
延吉道尹ハ我總領事ニ對シ兩國ノ間ニ條約問題ノ解決ヲ見ルマテハ
便宜ノ措置トシテ各々其ノ認ムル所ニ依リ法權ヲ執行シ互ニ妨害ヲ

然レ共其ノ間裏面ニ於ケル支那側官憲ノ我法權妨害ノ態度ハ依然熄マス我威信ノ保持上及在留鮮人統治上放任スヘカラサル事態ニ立チ至リタルヲ以テ大正六年以來總領事館及各分館ニ警察官ノ増員ヲ行フト共ニ必要ノ地點ニ警察分署ノ増設ヲ行ヒタルモ大正九年珲春事件ノ経験上同地方ノ治安狀態尙意ヲ安ンスルヲ得サルト共ニ萬一ノ場合到底支那側ノ力ノミニ信賴シ能ハサルヘキニ鑑ミ前章所述ノ如ク更ニ警察官ノ増員及警察分署ノ増設ヲ實行シ之ト共ニ在間島總領

B-0036

直々指揮ヲセラマ谷モ其ノ職ムハ視ニ送リ書翰ニ封書モ直ニ被害モ

郭吉海氏ハ蘇聯領事ニ接シ取締く間ニ終日開闊ヘ執戈モ馬ハモハ夷ニ被害モ既てムハ對益セムモ留り失ルナヘ威モ大正五年六月頭へ親類ニ出モムイ共ニ匪徒士モ實體土モ支那關へ被害モ獨ニ特例ハハ
商業者吉面ニ向セモ敵母セハ敵母モ難モ恩モ親人モ安室ニ被害モ車輛ハ張良輔吏モ姑善モ韓人達育養院モ演習モ其ノ財産主モ金銀支那關主題モ歸還スルイ共ニ商賈支那總領事館内機械スハ被難
本ニ接シ被害ニ領モハ吉面土間農園隊モ被害モ甚シハ被害モ甚シハ

中立民華埠モ被みシ義モ音頭ニ出モ

被害人モ強制モ甚シハ至リモハ被害當初モ既事前告入署報ヘ該

事項ノ外特ニ不逞鮮人ノ言動ヲ查察シ之カ取締及檢舉ヲ主眼トシ我威力ヲ示スト共ニ一面支那側ノ行動ヲ監視スルコトヲ指令スル所アリタリ（別紙第一號）

以上ノ如キ我ガ警察力ノ擴張ニ對シテハ支那側ニ於テ益々不安ヲ感スルニ至レルモノノ如ク中央及地方官憲ヨリ頻リニ抗議シ來レルモ我方ニ於テハ地方治安ニ對スル支那側官憲ノ無能力ヲ唯一ノ理由トシテ斷然之ヲ拒絕スルト同時ニ他面出來得ル限り問題ヲ起ササル見地ヨリ警察權ノ行使ニ當リテハ特ニ重大ナル政治犯ノ檢舉其他已ムヲ得サル場合ノ外ハ成ルヘク手心ヲ加フル方針ヲ執リ又商埠地外ニ於ケル分署モ支那側ノ神經ヲ刺戟スルコトヲ防止スル爲メ常設的名

策にて食糧の支度難と輸送と陳述されに、又現地にて當初より當選報告
せし者等の報告と長ハ難ありて、年余を時て、改編を繰り交番等處事務
がや轄内立地監視と警備ニ當りモベ、其の重大モハ巡邏部隊と警察官等監督
費支ニ付キハ、巡邏當安ニ機会、支那監視部隊や巡警隊を組シ、巡警モ
又ハニ延々久安ヘ、職々中央更張改舊セリ、環りを防護モ東シテ、巡警モ
既往ノ職事遂に警察代ヘ謝罪ニ極マベ、支那監視ニ管セス、不徳モ犯
リセリ（照應第一回）

與代モ示スル共ニ一面支那監視ハ、警備モ巡警モ、又ロイヤル警察モ水陸モ
事務ノ長幹ニ不異難入、言論モ查察モ玄々而奸諜又對學モ主張モ、并
其諱ノ警察監視ニ如善モ此ヘ大五十事三員其ノ治務トモ一聲警察

稱ヲ避ケ、臨時の派遣ノ形式ヲ執ル等周到ノ用意ヲ以テ實質上我警察
ノ基礎ヲ固ムルコトニ努メタリ。

斯ノ如クニシテ支那側トノ關係ハ始終反目ヲ續ケタルモ陶延吉道尹
在職中ハ其ノ人格平和的ニシテ其ノ態度モ概ネ微溫的ナリシト共ニ
地理上中央政府ノ注意行届カサリシ關係上地方的ニハ幾多ノ事故ノ
發生ヲ免レサリシト雖多クノ場合、平穩裡ニ解決シ其後大體ニ於テ無
事ニ經過シタルモ昭和三年九月陶道尹卒去シ同年十一月新任延吉道
尹章啓槐着任シテ我警察機關ノ充實セル現狀ヲ目擊シ頗ル脅威ヲ感
シタルモノノ如ク直チニ管下各縣知事ニ訓令シテ我警察權ノ行使ニ
對スル對抗方法ヲ指示シ（別紙第二號）同年十二月廿九日東三省ノ
易職ニ伴フ吉林省政府改組ノ結果道尹制撤廢セラルルト共ニ章力省

心ノ國權恢復熱俄ニ昂進セルヲ背景トシテ頻リニ我勢力排除ヲ目的
トスル計畫ヲ廻ラシ其ノ姻戚張書翰ヲ延吉市政籌備處長兼間諭四縣
行政監督ニ拔擢シテ其ノ政策ノ實施ニ當ラシメタル結果同地方ニ於
ケル支那側ノ對日感情及態度ハ舊ニ遡リテ悪化シ昭和四年四月龍井
商埠分局長ヨリ我總領事ニ對シ商埠地外十三箇處ノ警察分署カ條約
上ノ根據無キコト及支那軍警ノ實力充實セルコトヲ理由トシテ其ノ
撤退方ヲ非公式ニ申出テタルヲ初メトシ我警察官カ刑事被告人タル
朝鮮人ヲ押送ノ途中支那警察官カ暴力ヲ以テ之ヲ奪取シ我總領事ノ
抗議ニ應セサル事件、犯罪搜査ノ爲メ奥地ニ出張セル我警察官ヲ宿
泊セシメタル鮮人旅宿ヲ嚴罰ニ處シタル事件其他我警察官ノ巡回又

前事之失敗の輔人越前守謹啓ニ鑑之奉り事半其間裏幕事務有ノ過失
御事ニ應子事小掛書、謹畢題表、備文與此出處多且要者察官マ商
賈婦入、等卷々卷中支那警察官改暴武、起手攻セ襲犯ニ對警務事
難居式マ非公友ニ申出セ外少々懸メイテ聲學察官共懸事書本及此
上、署語無手口不甚支那軍管、實付底實手外口不甚題由トシテ其人
面見我國事ニテ聲懸論事三端、之助學政學十三箇處人聲發公署、並繪送
セ此次牒驗、接日總書以願圖ハ舊ニ歎リモ要計之極時四年四月號共
音頻親書ニ起居之モ其ノ頭環ノ實驗ニ當セラム又以禁果樹藝古ニ鉢
生木水培養モ堅モ其ノ頭環ノ實驗書鏡ニ照吉市貿易總經理兼開學園總
小、總辦事處總辦事墨識ナシモ皆景生之モ運セニ聲樂式書類セ田苗
細報更甚處事ニ轉玉人也ナ其間島三鉢モ器及此相參ニ甚牛且此式因

支那官憲ノ使嗾ヲ思ハシムル事件頻發シ茲ニ情勢一變シテ彼我警察官拮抗ノ空氣濃厚トナリ正面衝突ヲ誘導スルノ危險頓ニ加ハルニ至レリ

如上ノ情態ニ鑑ミ我力警察權ノ行使上相當ノ對策ヲ考究スルノ必要アルニ至リタル處之カ前提トシテ次ノ諸事項ヲ考慮セサル可カラス即チ

第一ニ最近支那側力我警察權行使ヲ直接間接ニ抗拒セムトスルハ獨リ間島ニ限ラス支那一般ニ見ル傾向ナリ例ヘハ廈門ニ於テ商埠地タル鼓浪嶼以外ニ於ケル我警察官ノ犯人檢舉ヲ認メス支那官憲ニ於テ之ヲ逮捕シタル上我領事館ニ引渡スヘキコトヲ主張シ又濟南青島等

支那事務所等の出處難事、前ニ同地又ノ事由、其ノ主張及支那官吏等
が該處點以降ニ於キ本邦警察官ノ権限人對照、又該處點迄當ニ於テ
支那官ニ與モハ支那ニ於ニ異ニ轉向セリ時ハ、兩門子就モ舊舉也
蓋一二ニ強義支那點を過者、察諭音封、動遊聞勢ニ甚甚也、ナスハ戰
略也

テハニ當事ハ、觀立並商號イミテ大々轟轟車ヲ被題せし頂此ニス
既土ノ活題ニ造り得る者、其處ノ管轄士署當ヘ機策、本院内ルノ必要
アリ

官駐在、空居處所トセリ、互面衝突、編幕又ハ、演劇團ニ眼ハルニ至
支那官吏ヘ對應、思へシニテ、事半懸殊、茲ニ御發一聲、モ、舊舉也
ハ、與舊舉中支那人暴動、或セラミテ、暴言々風々、或賊半即モテニ
ニ於テ我警察官ノ制服著用ニ反対シツツアルカ如キ其ノ著例ナリ、從
來我カ領事裁判權行使ニ當リテハ、開放地以外ニ於テモ屬人的ニ我カ
警察權ヲ及ホシタル事例、渺カラス、支那側モ多クノ場合之ヲ默認シテ
其間殆ント大ナル紛擾ヲ見ルコト無クシテ、經過シタル次第ナルモ最
近ニ於テハ我カ警察權ニ對スル無關心ノ態度頓ニ改マリ、殊ニ未開放
地ニ於テハ强硬ニ之ヲ抗拒スルノ風濃厚ヲ加フルニ至レリ、右ハ畢竟
對外不平等關係ヨリ脱却セムトスル支那側ノ牢固タル根本主張ノ發
露ニ外ナラサルヘク、從テ我方ニ於テ强硬ヒテ之ヲ争フニ於テハ支那側
ヲシテ反撃的ニ益々其ノ態度ヲ硬化セシメ擅ニ我カ權益ヲ破壊スル
ノ暴舉ヲ激發スルニ終ハルヘキコト想察ニ難カラス、他面治外法權乃
至領事裁判權ノ撤廢モ殆ント時期ノ問題ニシテ早晚其ノ機到来ヲ見

三

實ノ維持ニ努ムルヲ以テ得策トスヘシ

第二三間島地方ニ於ケル我カ警察機關ハ大正四年條約成立後ニ於ケル支那官憲ノ在留朝鮮人ニ對スル壓迫並琿春事件及頭道溝事件等ニ依リ曝露セラレタル匪賊不逞鮮人等ニ因ル治安紊亂狀態ニ對スル自衛及圖們江國境警備ノ必要上漸次充實擴張セラレ今日ニ至リタルモノナルカ開放地外ニ對スル分署ノ設置ニ付テハ何等條約上正當ノ理由無キモ治安維持ニ關スル支那官憲ノ無能力ニ鑑ミ居留民ノ保護取締ノ爲自衛上已ムヲ得サル必要ヨリ生シタル慣行ヲ唯一ノ理由トシテ今日迄支那側ノ抗議ニ對抗シ來リタル次第ナルヲ以テ前記ノ如キ自衛ノ必要已マサル以上輕々ニ斯クノ如キ方針ヲ拠棄スルコトヲ得

145

自警ハ強要且テ警備裏主體外ニシテ謀略ハ暗中實行シ其策又ハ上ナリテ警
モ今日益支那勢ハ甚強ニ其勢又ハ甚大而我軍之勢甚微也故而ハ成事
密々自蒙土田ヨリニシテ謀略ハ甚要日セ主ムタクハ機密を守密トシテ其由リ
由緒ナキ信表能勢ニ附ス其支那謀言意ハ猶誰也ニシテ其勢を警戒矧人幾種類
アヤサシキ事也其間並無事無シ其食器ハ鐵羅ニ計モヘ圓盤則甚土五當ヘ堅
鐵又國體玉圓盤皆無事ハ其蒙土達夫底實則甚セモハ半百萬石至リ及次子
夷り難處セモハ其本源雖不顯然入尋ニ因風聲安泰獨處難ニ擬ス水陸
水支派官道ハ其間轉運人ニ付ス少望既並置奉事御臺御膳御膳車料事ニ
禁ニシテ間隔甚大ニ視テ其勢を察察數國ハ大玉四半騎兵立勢ニ候セ
實ノ警備ニ復ニハ其勢を窮屈ナスヘシ

ス

第三ニ最近ニ於ケル間島地方ノ治安狀態ヲ見ルニ有力ナル馬賊團ハ
依然トシテ安圖、樺甸、敦化、東寧等接壤地方ニ蟠居シテ絶エス間
島平野ヲ窺ヒ不斷ニ日支警察力無キ地方ヲ脅カシ他方朝鮮ノ獨立又
ハ共產主義ヲ標榜スル鮮人匪賊ノ露領又ハ敦化、樺甸、安圖等諸地
方ヨリ潛入シテ不逞行動ヲ縱ニスルモノ其ノ跡ヲ絶タス殊ニ最近中
國共產黨ノ滿洲進出ニ伴ヒ共產主義不逞鮮人ノ跳梁日ヲ逐フテ盛ヲ
加ヘ來レル等ノ情態ニ鑑ミ之カ警備ハ一日モ忽ニス可ラサル狀況ニ
在リ

第四ニ間島及琿春地方ニ在住スル朝鮮人約三十九萬人ニシテ（實數
ハ更ニ多數ナルヘシ）同地方總人口ノ約八割ヲ占メ其ノ所有墾地ハ

B-0036

ハ東洋ノ華麗堂派アヘンヲ同様表露天山及韓大韓東昌天其故實事無事ハ
朝鮮國體御政事並其勢力及隨職夫々隨職夫士三十武漢入ニシテハ實然
居也。

而以來多之奉者謂無能無能方成舊物也。吾等爲主又復モヤ取相處ニ
經其盡善之誠義盡出其間乎其主不崇極人之謂無口也蓋之謂無也
古者有戰火多モ未報皆傳ヤ無ニ火事乎其ノ報ニ猶々不復主是後半
ハ其主雖リ無能スム無人則無人無反人無分。無所。安國等雖無
亂平理ミ魔ニ不滿ニ日支營繫欲無手無武モ營兵之期衣時無人既立交
易無事也。又之國體御政事。無者。東學華善變貌改ニ變貌。モ擇主ス間
諒三ニ無事。無者。又間處。無者。又諒三ニ無事。無者。又諒三ニ無事。無者。
△

耕地全面積ノ半以上ニ及フ而シテ同地方ニ對スル朝鮮人移住ノ趨勢
ヲ見ルニ大旱魃等ニ依ル障礙アリタル年ヲ除キ毎年少キモ五千人多
キハ五萬人ニ及ヒ今ヤ間島協約成立當時ノ人口ニ殆ント四倍スルノ
勢ヲ示セリ斯クノ如キ移住ノ原因ハ多々アラムモ同地方カ我カ保護
助長上ノ施設ニ依リ鮮農安住ノ地トシテ迎ヘラルニ至レルコト其
ノ主要原因ノ一タルコト疑ヲ容レス而シテ現在ニ於テハ同地方ニ於
ケル朝鮮人ノ既成勢力牢固抜ク可ラサルモノアリ事實上朝鮮人ノ勢
力範圍ニ屬シ進ンテハ滿洲ニ於ケル朝鮮人發展ノ基礎ヲ成シ從ツテ
之カ消長ハ直チニ全滿朝鮮人ノ活動力ニ至大ノ影響ヲ與フルモノナ
ルニ鑑ミ之カ保護ノ手ヲ緩メ其ノ既成勢力ノ衰滅ヲ招クカ如キハ嚴
ニ避ケサル可ラサル所ナリトス

本ニ得ミ支那樂籍ノ母ニ幾大其又製造等ノ事務ヲ附キ此國事ハ當
ニ成ル時刻ハ斯キニ全體開闢入人詮議也其種々之類諸事項等ハ以テ人モ
或而羅ニ屬シ茲モ子爵賈國外モ該轉輸入總額ハ總額也斯モ諸事項等
サム歸入人、則即當此半國外モ更モ可也ハテ、
ノ主要原因ハ一タゞニ千葉セ容ニ及夫輔也モ財產ニ氣モハ同狀亦ニ復
現更生、獻策ニ起り觀聽實錄ノ學士院監修會事務ニ於其
學士院監修會事務ニ於其
キハ亞洲人ニ莫ニ乎ナ顧觀聽實錄立言細々人口ニ識ニリ國外ニハ
ニ異火ニ大學慈善ニ過火朝鮮アリシハ半マ鋼牛番半也半ニ五千八百
萬數至而蘇ニ半國土ニ近シテ斯モ同該大ニ機ス以開拓人新計人謀
ルコト

本省ニ於テハ以上ノ諸點ヲ前提トシテ考慮シタル上今後間島地方ニ
於ケル我力警察權ノ執行ニ際シ執ルヘキ方針トシテ昭和四年九月在
間島總領事ニ對シテ左ノ如ク訓令スル所アリタリ

- (一) 未開放地ニ於ケル犯人檢舉ニ當リ豫メ支那側當局ニ通知スル程度
ノ妥協的態度ニ出テ以テ支那側ノ面目ヲ立テ其ノ妨害ヲ排除シ得
ルニ於テハ他ニ實害ナキ限り右ノ如キ方法ヲ講スルコト
- (二) 刑事被告人タル朝鮮人ノ逮捕又ハ押送ニ當リテハ成ルヘク支那側

二目立外サル方法云講スル工

以上ハ如キ方法ヲ講シタルニ拘泥不支那官憲ニ於テ我が警察權ノ執行ヲ妨害シ殊ニ實力ニ依リ阻止セムトスルカ如キ場合アルモ甚シク我カ權利及立場ヲ毀損シ將來ニ惡例ヲ貽スカ如キ虞ナキ限り成ルヘク妥協的方法ニ依リ穩便解決ヲ計リ必要已ムヲ得サル場合ノ外ハ實力ニ依ル對抗手段ヲ執ラサルコト

然ルニ其後支那側ノ我方ニ對スル態度益々悪化シ昭和四年五月一日局子街分館署員四名カ鮮人強盜犯二名押送中琿春縣横山子ニ於テ支那巡警六名ニ奪取セラレタル事件、同年十月二十日同分館署員四名カ犯罪被疑鮮人押送ノ途中延吉縣朝陽川ニ於テ支那巡警及勞働者ヨリ暴行ヲ受ケタル事件、昭和五年二月二十三日銅佛寺分署員五名カ

四

二名負傷シ（支那側保衛團タルノ疑アリ）支那警察ノ妨害ノ爲メ手
運レトナリ一名ハ遂ニ死亡スルニ至リタル事件、同年四月十九日太
拉子分署ニ保護中ノ鮮人娼妓奪取ノ爲メ同人情夫ノ煽動ニ依リ押寄
セタル支那人暴民カ支那巡警ノ制止無カリシ爲署内ニ侵入シ同署長
ニ暴行負傷セシメタル事件、同年五月六日龍井村ニ於テ總領事館鮮
人巡查力鮮支人ノ喧嘩取鎮メニ向ヒタル際支那巡警ニ殴打セラレタ
ル事件、同日同地ニ於テ我陸軍連絡將校事務員カ領事館警察官ト誤
認セラレ支那巡警數名ニ殴打セラレ負傷シタル事件等相踵イテ起リ
支那軍警ノ我方ニ對スル舉措甚シク挑戰的トナリタルヲ思ハシムル
モノナリ爲メキ著シク我方警察官ノ神經ヲ刺戟シ我居留民ノ間ニモ

SP. 236

162

B-0036

支那官憲ノ暴戾日ヲ逐ウテ露骨ナラムトスルヲ痛憤スルノ餘リ實力ヲ以テ積極的ニ之ニ對抗シ場合ニ依リテハ之ヲ膺憲スヘシトスルノ激越ナル論ヲ爲ス者ヲ生シ彼我感情ノ赴ク所極メテ重大ナル危機ヲ醸成スルノ惧アリ殊ニ昭和五年五月三十日龍井村及頭道溝ヲ中心トル共產系不逞鮮人ノ暴動勃發シ支那側ノ治安維持ニ關スル能力全然賴ムニ足ラサルコト曝露セラルヤ我出先官憲ニ於テモ從來我方ノ警察力足ラサル地方ニ於テハ支那側ニ於テ種々妨害ノ態度ニ出ツルモ實力備ハレル地方ニ於テハ却テ事無キヲ得タル實情ニ鑑ミ支那側ニ於テ完全ニ善政ヲ布キ得ルニ至ル迄ハ經費其他ニ付相當ノ犠牲ヲ忍ヒテ迄モ支那側ニ賴ラス我方自ラ治安維持ニ任シ得ル程度ノ警備力ヲ増加シ正當ナル既得ノ權益ノ擁護及鮮人保護ノ責務ヲ盡スコ

三

此皆不經誠之所為也。蓋專之難，專更難。入學雖入其鄉，又復失其
本。或曰：當子支體既日復，人與物自生，然後無事。則是學以學其體，而
德以德其身。非以靜而無聲，動而無形，無所有者也。豈其體日生無事，而
其德日生無所有者乎？故曰：「學以學其體，而德以德其身。」

1

ト絶對ニ必要ナリトノ意見ニ傾クニ至レリ

ノ對日態度カ從來ト異リ相當強固ナル根抵ヲ有スルノ事實ニ鑑ミ此
際我警察官ノ一大増員ヲ行フコトハ必スヤ支那側ノ對抗的態度ヲ激
發スヘク其ノ場合先方ノ組織的妨害ヲ受クルニ於テハ現在員ニ數倍
スルノ増員ヲ以テスルモ能ク之ヲ排除シ得サルヘキノミナラス之力
爲メニ却テ彼我衝突ノ危險ヲ滋カラシメ匪賊ニ乘セラルルノ機會ヲ
多カラシムヘキコト明白ニシテ大局上極メテ不得策ナリト認メタル
ヲ以テ本省ニ於テハ同年六月十三日附ヲ以テ在間島總領事ニ對シ支
那官憲ニシテ故無ク我權益及施設ヲ侵害シ又ハ濫リニ我警察官ノ任
務遂行ニ妨害ヲ加フルカ如キ所爲アリタル場合ニハ嚴重之力匡正ニ

164

SP. 236

B-0036

५८१

努ムヘキハ勿論ナルモ實力ニ依リ現状ヲ打開セムトスルコトカ前記
ノ如ク得策ニ非サルニ鑑ミ徒ラニ警察官ノ増員ニ期待スルコト無ク
支那官憲ノ行動ヲ監視督勵シ常ニ克ク之ト連絡協調ヲ保持スルコト
ニ努ムルト共ニ我警察權ノ行使ニ當リテハ最近ノ事態ニ鑑ミ一層慎
重ニ舉措スルノ要アルヲ以テ

(一) 商埠地外ニ於ケル我警察官ノ行動ニ付テハ前記昭和四年九月ノ訓
令ノ趣旨ヲ一層徹底セシムルコト

(一) 本官員ニ對する言語 意見及之が處遇方等ニ付充分監察官ヲ指
導教養スルト共ニ幹部ニ於テモ支那官憲トノ友好關係持續ニ意ヲ

153

165

SP. 236

B-0036

(三) 在場ニ在る者に於ける間接的行動を以て、支那側主導權を握る事の如きは、敵我合意問題
の実現に於ける上に甚だ重視する所である。

(四) 政府の主導的行動を以て、敵我合意問題の解決に於ける上に甚だ重視する所である。

(五) 政府の主導的行動を以て、敵我合意問題の解決に於ける上に甚だ重視する所である。

(六) 政府の主導的行動を以て、敵我合意問題の解決に於ける上に甚だ重視する所である。

- ニ 關スル具體的事實ヲ指摘スル等ノ方法ニ依リ支那官憲ノ注意ヲ
喚起シ警戒取締ニ關シ適切ナル手配ヲ講セシムルコト
(四) 情報ノ蒐集ニ一層意ヲ用ヒ以テ警察力ノ不足ヲ補フコトニ力ヲ竭
スコト

ノ諸項ニ依リ善處スヘキ旨ヲ訓達スル所アリタリ(別紙第三號)

前記五月三十日暴動事件以後我警察ニ於テハ共產系不逞鮮人ノ檢舉
取締ニ全力ヲ竭スコトトナリ從ツテ支那側トノ連絡協調ニ關シテハ
更ニ一層意ヲ用フルノ必要ヲ見ルニ至リタル結果茲ニ間島問題ニ
關スル一般的交渉ヲ開始スルノ要ヲ認メ爾來我總領事館ニ於テハ一
方ニ於テ共匪ノ檢舉ニ努力スルト共ニ他方在奉天及吉林總領事館ト
相呼應シテ右一般交渉ヲ開始シタルカ此間ノ實情ニ付テハ別章ニ記

財糧事務を掌り營造處を掌管するに就く出閣人實體。ニ付てハ賀章ニ羅
内大臣等與閣人等舉手承認ス承認書上共三種次第奉天支那特使總理附
印ノ外、總理及總參謀長附印ノ外、又學政司監督來使懸照事務ニ付キヘ
復ニ一括意又用テ以ハ發票を呈出ニ至リタル總經理二開高麗頭事
總理ニ成式々據次口才大口口口口口口口口口口口口口口口口口口口
尚書正員三十日總理事務司總理對外事務ニ付キヘ其職事不盡報人へ為學
政司監督在身者等總事務半官マ賄賂ス供體で申候事（總理事務司總理）

スセイ

總理總人等事ニ一概悉知相口以次發票事ノ承認マ解マニ付キ貢
契號名前總理等ニ關心應認事小半國事總理事付

スセイ

述スル所アラムトス

別紙第一號

間島地方（琿春縣ヲ含ム）警察問題ニ關スル方針

（大正十年三月省議決定）

間島地方警察機關ハ左ノ制度及設備ニ基キ提示セラレタル人員ヲ以テ分散配置スルコト別表ノ如シ（別表略）

現在配置シアル各警察分署要員ノ撤退ハ民心ニ影響スル所大ナルヲ以テ飽迄存續シ分署ノ設置ヲ期セサルヘカラス

左記

一 権限及系統

(一) 總領事ハ間島地方警察事務ニ就キ各分館主任ヲ指揮監督ス但シ緊急ノ必要アル場合ハ分館警察署長又ハ分署長ニ直接命令ヲ發スルコトヲ得

第三章 警備

(一) 警備事務ハ間島地方警察事務處ニ隸する。主計課マ部隊監督課ス附

二 警備要領

三 防

マ國々、通草等之食器、煙草、煙草等の販賣人

經濟局課等ハ音響繁長需要及、煙草、煙草等の販賣人、酒類大中小

や金銀品類等ハヨイ服裝、眼鏡、眼鏡、眼鏡等の販賣人等

御製御衣、醫務器具等ハ該ハ通商要務課ニ基手、監査ヲモニモ八員又以

(大正十七年三月廿九日)

開港場支、(貿易課、官舎)、警察課等に關する式様

四 指定

總領事館ニ警察部ヲ置キ間島在勤ノ警視ヲ以テ警察部長ニ充ツ
警察部長ハ總領事ノ命ヲ受ケ間島地方警察ニ關スル全般ノ事務ヲ掌ル

(二) 警察部長、警察署長、分署長ハ警察業務ニ就キ相互間並ニ認可ヲ受ケタル他ノ官廳ニ對シ直接通信ヲ爲スコトヲ得

二 任務

間島地方警察ノ任務ハ一般警察事項ノ外特ニ不逞鮮人ノ言動ヲ查察シ之ヲ取締及檢舉ヲ主眼トシ我威力ヲ示シ一面支那側ノ行動ヲ監視ス

三 朝鮮側トノ聯絡

間島地方警察事務ハ常ニ朝鮮側ト密接ニ聯絡ヲ保チ咸鏡北道茂山、

關幕缺武藝，筆氣比鶯鶯。當年博報冊，不善對玉嬌音。莫期子魚譏此董狐書。

二

問吳起武教，答曰：「吾善以一舉繼素事與人伐罪。」不善殺人，言雖可，非
所重也。要之，多善斷人情，輕重得失，審察無訛，此其所以爲人也。

卷八

(二) 警察部長、警察署長、分署長ハ警察業務ニ就キ相互間並ニ認

總領事館ニ警察部ヲ置キ間島在勤ノ警視ヲ以テ警察部長ニ充ツ
警察部長ハ總領事ノ命ヲ受ケ間島地方警察ニ關スル全般ノ事務
ヲ掌ル

二
任務

間島地方警察ノ任務ハ一般警察事項ノ外特ニ不逞分子ノ言動ヲ査察シ之ヲ取締及檢舉ヲ主眼トシ我威力ヲ示シ一面支那側ノ行動ヲ

三朝鮮側トノ聯絡

間島地方警察事務八常ニ朝鮮側ト密接ニ聯絡ヲ保チ咸鏡北道茂山

陸軍本大審議會へ常ニ機動期イ審議ニ轉じて果テ與黨並行策出、
三 既報備子入聯説
御賜ス
案ニテサニ連絡外務省、王地主々共處はマ示ル一而玄祖國へ音信ア
開城處古參集、音信ハ一連音信集單、我等ニ不墨領人へ音信ア音
二 通報
加メ受カヌル事ハ官廳ニ提ヘ實體強制ア資メセオマ等
四 申禁聯景、義禁聯景、我等處ハ聯禁、禁毒ニ錄キ辟更開並ニ續
テ 聖事
五 聚集聯景ハ聯匪事、命又豈ア間裏謀次収禁ニ開支、全般ヘ連禁
聯禁聯景ニ華察捕モ難半聞患毒也、醫藥足以テ醫療聯景ニ承マ
ルコト

鐘城三十名 茂山、穩城、訓戎各二十名

四 附屬諜報機關ノ活用

今回ノ增員警察官ハ甚タ少數ニシテ而モ分散箇所ノ數多キヲ以テ
諜報機關ヲ擴張シ事件ヲ未然ニ偵知シ各署相互間並ニ朝鮮側軍隊
及警察ニ通報シテ密接ナル聯絡ヲ保チ之ヲ警防スルヲ要ス
諜報機關ノ擴張ノ要件トシテ機密費ノ増加ヲ要ス而シテ取締費ノ
一部渡切費トシテ各館ニ配布スルノミナラス敏活ナル行動ヲ執ル

一 購賣費用ヲセキテ各前ニ購入スルベシヤズヌ端番セシ音樂ミ導ク
樂器樂器ヘ採購ヘ要旨オムニ茲宿費ヘ音風ヘ要ニ取リヤ即發費ヘ
莫聲樂ニ重跡ヘテ音樂ナム經緯モ始ヤ六モ音樂スハド要ニ
樂道樂器ヘ音樂ヘ建物モ未然ニ貢職モ音樂時直間並ニ樂器附軍器
今回ノ伊良音樂官ハ甚ダ忠誠ニシテ而モ令嬢商演ヘ傳授乎マ思セ

四 横濱樂器樂器、音組

薪炭三十名 黃山、蘇鐵、圓與谷二十名

八二イ

子出處々皆ヘ半華蘭ミ獄少少頭領員モ捷速ナムハロイニ御室又
音書樂畫「ヨミテ號和樂妻ニ策勸シテ尚玄瑞谷酒ニヘ同耕セリト
會樂、蘿娘、獨樂、鷗共、雲蒸、涼山、劍舞ヘ音樂樂曼モ「我

爲メ事後承認ヲ以テ臨機支出ヲ許スコト

五 警察官ノ教養及給與

增員警察官ハ可成三十歳未滿ノ軍隊出身者ヲ採用シ平素軍隊訓練
ヲ爲シ實彈射擊等ヲ實施シ武術獎勵ノ法ヲ設クヘシ（軍隊出身者
採用ニ就キテハ朝鮮軍ト聯絡セハ相當人物ヲ得ラルル見込ナリ）
增加警察官ノ募集ハ當分ノ間單身赴任者タルヲ條件トス（現下ノ
狀況上家族ノ携行ヲ許シ難キニ因ル）

總領事館警察署内ニ巡査敎習所ヲ設ケ間島地方警察事務ニ必要ナル
教育ヲ爲ス巡査ノ募集ハ總領事館警察部ニ於テ行フ

六 銃器彈藥ノ備付

警察署及分署ノ銃器ハ少クモ定員ニ支給スル小銃（一銃ニ付彈藥

10

樂器八音之子寶貝二支管六張小瑟一張二升職樂

二、一、三、及拳銃、彈藥一銃ニ付五十發、ヲ備付ケ且豫備銃及同拳
銃（定員ノ五分ノ一）及彈藥（一銃ニ付四百發拳銃ハ五十發）及
警察署ニ機關銃ニヲ備付クルコト

七 廳舍、宿舎ノ特別設備

補充銃器八軍隊撤退前二間島ニ到着スル如ク發送ス

各分署ハ廳舎ハ（要スレハ宿舎モ）現狀ニ於テハ煉瓦造等ニ改造スル時ハ却テ注意ヲ惹ク虞アルヲ以テ土壁ヲ圍ラスノ程度ニ止メ家屋防禦ニ利用スルヲ要ス

八 訓練及服務規定ノ制定

間島地方業務執行上必要ナル軍隊的訓練服務及事務ノ處理ニ關ス

統一ヲ計ルヲ要ス

別紙第二號

延吉道尹章啓槐ノ管下各縣知事ニ對スル密令

(昭和三年十二月二十六日在間島總領事報告)

本官ハ當地ニ着任シ未タ一箇月ヲ經過セス且管内ノ事情ニ通セサルモ延邊言論機關ノ輿論及地方行政機關ノ報告ヲ綜合スルニ延邊一帶ニ於ケル日本領事館警察ハ中日條約ヲ無視シ警察權ノ行使、舉民取扱ニ關シ毫モ考慮セス行動ヲ恣ニスルモノノ如シ隨テ彼等ハ恒ニ各地方ニ横行シツツ我官憲ニ遭遇シ我方ヨリ行先並要務等ヲ尋ネラレタルトキハ言ヲ左右ニ托シ動モスレハ我官憲ニ侮辱ヲ加フルカ如キ行爲アリ而シテ到ル處ニ於テ無智ナル舉民ニ對シ威力又ハ甘言ヲ以テ種々ノ調査ヲ爲シ我權利ヲ侵害シツツアルハ實ニ遺憾ニ堪ヘサル

モ領事ノ監査又係々舞踏隊又暴害セヤアハ實ニ無縫ニ謀ヘキ事
音義テリ捕セキ監禁國ニ供テ漁習セシ暴犯ニ謀ニ類似又ハ甘苦ニ想
モ此ニモハ當ニ詔旨ニ准ニ較テ較テ次々ハ將官職ニ訓學モ取マム威半
威武ニ邊官セシヤ舞官處ニ監禁後舞衣見リ皆悉並要警戒セ奉キモ
既ニ期セテ其教誨ナシ旨意ニ悉ニ凌駕セテハ威ニ闇ニ至サハ所ニ谷
主張セ日本滿寧前督等ハ中日滿洲ニ無馬ニ邊禁野々村茂ニ樂道題
主張セ日本滿寧前督等ハ中日滿洲ニ無馬ニ邊禁野々村茂ニ樂道題
本官ハ常服ニ着用シ未モ一蘭良木脣蟲ナシ且管内ニ寧親ニ誠セセム
主張セ日本滿寧前督等ハ中日滿洲ニ無馬ニ邊禁野々村茂ニ樂道題
（昭和三十二年二十六日新潟縣警署報告）

義吉董長等督課ハ管下各縣警署ニ達ニ小密令

原謙第二轉

所ナリ察スルニ彼等ノ現今延邊地帶ニ於テ斯クノ如キ行動ヲ爲スニ
至リタルハ前任道尹ニ於テ多年彼等ト交際ヲ爲シタル關係上彼等ノ
行動ヲ往々默認シタル結果ナリト認メラル如斯ナレハ延邊地方ハ近
キ將來ニ於テ全ク日本領土ト化スル虞アルヲ以テ本官ハ之カ防止策
トシテ左記各項ノ方法ヲ講究シ之ヲ各官ニ令スルヲ以テ各官ハ隸下
各機關ニ令達シ此目的ヲ達成セラレタシ

一、常ニ彼等ノ口實トスル獨立黨並共產黨ノ組織有無ヲ調査シ置キ此
等ノ團體無キ地方ニハ絶對的ニ日警ノ出張ヲ嚴禁スルコト

二、各警察保匣ニ命シ日警ノ行動ヲ嚴重監視セシメ各種調査及地方横
行ヲ嚴禁スルコト

三、日警ニシテ我方ノ承諾ヲ受ケ地方ニ出張スルトキハ其ノ要務ヲ豫

日本ニモテ貿易ヘ通商ニ蒙ガ起ハニ出ツルベシナチハ異ヘ要護ニ給
旨スル事無ニシテ

一 善ク被暴威ニ金モ日幣モ首領モ難遭國境ナセ又谷縣民皆忍耐
年々ノ看撫奉獻貢ニシテ過往即ニ日幣モ出荷モ難遭スルコト

二 貨物ニ賣却ヘ日幣オヌ承認立憲並獎勵類ヘ應接無ニ通金モ積牛車
善財團ニ命懸カ出日幣モ難遭スルコト

三 善財團者毎ヘ日幣モ輸送モ官商合會ニ合スルセ以テ者官ハ總督
學政來ニ爲モ金參日本陸士ト出ス少卿マサニシテ本官ハ多衣冠重賓
將領マサニ貴賤セモ其御舉セリト所スヤシ職務モ難遭スルハ置
行リシカヘ前相國氏ニ爲モ善財團小支額モ御用兵費也此等之款入
相安也總督城ニ對奉ヘ是モ善財團者ニ金モ頭カヘ賦半許免モ御スニ

メ 調査シ置キ出發ノ時ハ必ス監視ヲ附シ我方ノ承諾以外ノ行爲ハ
絶對ニ禁スルコト

但シ地方ニ於テ我機關ノ命令ニ應セス承諾以外ノ行爲ニ出ツルト
キハ其ノ證據ヲ具シ本道尹ヲ經由シ嚴重ナル交渉ヲ爲スコト

四 墾民ニシテ我機關ノ許可ナクシテ日警ヲ自宅ニ宿泊セシメ且諸調
査ニ應シタル者ハ罰金以上ノ刑ニ處スルコト

五 墾民ニシテ日警ノ探偵ニ從事シ我機關ノ秘密ヲ密告スル者ニ對シ
テハ證據ヲ擧ケ嚴重處罰ノ上退去ヲ命スルコト

中華民國十七年十二月二日

兼延吉交渉員延吉道尹 章啓槐

2

卷之三

金華志

足經第三號

時在五年六月十三日附在間島總領事宛幣原外務大臣訓令

地圖：卷二 戰爭

共產系不良鮮人ノ暴行事件ノ起リタル爲貴地方ノ事態相當險惡ナルモノアルカ如ク此間ニ處スル貴官ノ御苦心ハ當方ニ於テモ深ク諒察スル所ナルカ右ニ就キ共產系不良鮮人事件ハ支那地方官憲ノ取締不充分ナルニ因ルモノト認メラレ此儘放任シ難キモノアルヲ以テ不取敢東三省及吉林省府當局ニ警告ヲ發シ貴方ノ御手配ト相俟ツテ善後措置ニ遺漏無キヲ期シ度キ所存ナリ又其ノ他ノ事件即チ天圖鐵道列車襲撃事件、銅佛寺分署員殉職事件、大拉子分署襲撃事件及間島

支那警察署指揮、驅駁等公署員實難事務、大韓子全署經辦專特急通報
舊居地ニ領事館半々頗ニ要す想事大モ又其ノ體へ事務體キ天國樂隊
舊官三官孤吉松翁實難事務、老若少無之貴才へ職手頭に財貨アモ給
詔書モ少ニ困ムモトモ騒々モハ其體茲事ニ觸手モハシテモ思テ不尊
スル事モ少ニ有ニ總乎其道不貞輕人事件ハ支那政事官憲ヘ與御不
子ノテ少々領事館開示總大モ貴重武メ事體時當猶甚セリ
其意系不貞輕人ニ暴言事務指揮職セリハ貴重武メ事體時當猶甚セリ
貴重貴重次ニ於モ先後事官呂麻路明ク該事連署事務又今朝ハ
同事理書ニ領事ム無警報體、音勢ニ關スル者

昭和正月十三日譯齊間島勝蔵事務部書類大函開會

標題第三章

連絡班事務員遭難事件等ノ如キハ夫々鮮人ノ強盜行爲、日支警察官
ノ過失殺傷、鮮支人情事關係ノ紛糾及支那下級巡警ノ暴行等單純ナ
ル突發事故トモ見ラレサルニ非ス之ヲ以テ悉ク支那官憲ノ計劃的行
動ニ基クモノトハ斷シ難シト思料セラルモ之等ノ事件ニ關係セル
支那官憲ノ態度ニハ貴地方全般ニ亘ル最近ノ排日的風潮ヲ反映セジ
ムルモノ多々アルヲ以テ今後我警察權行使ニ當リテハ一層ノ省慮
ヲ加フルノ必要アリト認メラル

固ヨリ支那官民ノ對日態度ノ推移ニ對シテハ我方ニ於テ常ニ冷靜ナ
ル態度ヲ以テ之ヲ監視スルト共ニ支那官憲ニシテ故ナク我權益及施
設ヲ侵害シ又ハ濫リニ我警察官ノ任務遂行ニ妨害ヲ加フルカ如キ所
爲アリタル場合ニハ支那責任當局ニ對シ嚴重抗議シ飽迄之カ匡正ニ

にて其の聯合ニハ支那貴重官員ニ付セテ總帥黃海・論事官を活用ニ
朝鮮官吏又ハ海軍ニ充當者官員ノ頭目監督ニ付セテ眞正等
之謀叛又起キタマシテ總帥ハムリサニ支那官憲ニカミテ急モ特務監査隊
獨セリ支那官員ハ總帥輔助ヘ銀幕ニ隠セバハ委狀ニ領セ當ニ帝類セ
ミ隠セムニ恐懼セリトシ難キモル

ニ付セテ詔文アリモ此モ主張者官員・監督ニ付セテハ一派・官員
支那官員ハ謀叛ニハ責成也全體ニ亘ル付替ヘ總帥輔助ヘ銀幕監査隊
モニ付セテハ一派・官員・監督ニ付セテハ總帥輔助・御輶相呼
ニ付セテ主張者・監督ニ付セテハ總帥輔助・御輶相呼ニ付セテ
ハ謀叛・總支人南洋總督ハ銀幕監査隊ニ付替セリハ奉旨等付替セ
ハ謀叛・總支人南洋總督ハ銀幕監査隊ニ付替セリハ奉旨等付替セ

努ムヘキハ勿論ナルカ貴地一部在留民ノ主張スルカ如ク此際我警察
官ノ一大増員ニ依リ積極的ニ支那側ニ對抗セムトスルカ如キハ今日
ノ情勢上到底行ハレ難キ所ナルノミナラス我權益ノ確保上決シテ所
期ノ效果ヲ收ムル所以ニ非ス即チ我警察力ハ廣キ區域ニ亘リ分散配
置ヲ要スル關係上支那軍警ヨリ組織的妨害ヲ受クルニ於テハ現在員
ニ數倍スルノ増員ヲ以テスルモ之ニ對抗スルコト殆シト不可能ナル
ヘキノミナラス之カ爲却テ彼我警察官衝突ノ危險ヲ滋カラシメ其ノ
間馬賊及鮮人匪賊ニ乗セラルノ機會益々多キヲ加ヘ遂ニハ收拾ス
ヘカラサル事態ニ陥ルヘキコト想察ニ難カラサル所ナリ尤モ幾ニ電
報申進ノ通り近ク貴館ニ對シ巡查二十名ヲ増員スル豫定ナルカ右ハ
不良鮮人取締等ニ關スル手配上警察力手薄ノ爲往々不測ノ結果ヲ見

本真義久連繩等ニ羅ス五手頭主警務次官新ハ若翁ハ不顧ヘ結果ア良
幕中監、運河監、貴館主機及巡査二十名マ前實又、本監主事モリヤマ、
ハ、本モセテ北洋ニ留ムベ半日ト一懸念ニ難キモ、其ノ間モリヤマ主事、
曲羅野公牧入閣頭ニ乘シモ、ヨリモ、其會益々盛キ、其ノ時、近衛、
ハ、半ヘシセモ、ニ玄武門院、又、御井寺、御井寺首衡奏、御前支拂也、又、其ノ
ニ、被拂不以、御員ニ思キ、水子玄ニ選封、又、此モ千部モ、不重蒲大、
猶マ、聖ス、本關、土支雅軍管モリ、縣麿御前善、安モ、此ニ領モ、ヘ、要將良
體、本果、尊ム、御恩ニ甚大、而、御警察次官ヘ、獨手調査ニ亘リ、令附屬
人、御義士、既、御旨ヘ、御手取、セホ、ナシ、又、御辭益々、御景土考、モ、御
官、ハ、一大御見ニ過セ、御處、御處、ニ、支那機ニ機封、ナ、トス、ハ、成時半ハ、今日
終ム、ハ、半ヘ、既、義士、御貴獻、一、暗、御置、又、主張、ニ、此モ、映々、其經御警察

ルコトアルニ鑑ミ、非常事態ニ於ケル貴館ノ機能ヲ充實スル意味ニ於
テ、取計ヒタルモノナルニ付、今後ハ、徒ラニ警察官ノ増員ニ期待スルコ
トナク、寧ロ現在人員ノ運用ニ依リ、一層能率ヲ發揮スルコトニ最善ノ
努力ヲ爲シ以テ、實質的效果ヲ、舉クルコトニ努ムルコトヲ要ス。
而シテ貴地方警察ノ任務ハ、從來屢々訓達シタルカ如ク、特ニ馬賊ニ對
スル警備、鮮人匪賊及共產主義運動者ノ取締ニ重キヲ置クコトヲ要
シ之カ爲ニハ、支那官憲ノ行動ヲ督勵スルト共ニ常ニ克ク之ト連絡協
調ヲ保ツコト最モ必要ナル次第ナルカ、我警察官中ニハ、動モスレハ支
那官憲トノ間、兎角融和ヲ缺キ、些細ノ事件處理上、不必要ニ問題ヲ重大
化セシムルカ如キ、例妙カラス、又、我警察ノ主タル任務ニ影響少キ、輕微
ナル事件ニマテ、一々關與シ無益ノ事端ヲ誘起スルカ如キ弊未タ全ク

子供等皆ニテサニモ詭異ル無益ヘ寧歟アシタル事無ニテ此間モ氣象モ盛々
風土必入ル事無半暖地也又其者通ハ主其小引達ニ御警必半暖地
詔書利キル照拂我理時ニ鑑キ御職ヘ事半暖地不甚要ニ開闢アリ
城モ堅クロト事モ極異セム大體ナム此我發寒宮中ニハ體ナムハ支
シテニテニハ支那有志ニ音便アリ體又ノイ共ニ當ニ強モ安ナリ體
不外體識、輸入網列共其道主體威即著ヘ事都ニ度半々周セニヤ要
而ナリ我體主體威即著ヘ事來源アリ體又其事體ニ體取ニ體取ニ體
發次第體主體威即著ヘ事來源アリニ及スニヤ要大

イセキ等ロ既存人員ヘ警備ニ於リ一體強卓アリ體又ノイニ是等ヘ
モ連接ニ及スニテソニ古今之物アリ其モニ體威主體威ニ開闢ナムロ
此ニテ既ニ體主體威ニ體威ニ體威ニ體威ニ體威ニ體威ニ體

去ラサルモノノ如シ之等ノ點ニ關シテハ今後一層注意ヲ要スルモノ
ト認メラル

貴地方ニ於ケル我警察權ノ行使上ノ注意ニ關シテハ客年九月四日附
訓達ノ次第アルモ最近ノ事態ニ顧ミ今後特ニ慎重ニ舉措スルノ要ア
リト認メラルルニ付貴館警察官ニ對シ日常ノ任務遂行ニ當リテハ左
記各項ノ方針ヲ体シ遺漏無カラシムル様充分御示達相成度此段申進
ス

記

一、未開放地ニ於ケル我警察權ノ行使ニ就テハ客年九月四日附前記訓
令第一、二及三項ノ趣旨ヲ一層徹底セシムルコト即チ「鮮人匪賊」
又ハ共產主義運動者及殺人強盜等重大犯罪ノ檢舉以外輕微ナル普

通犯罪又ハ行政犯ニ對シテハ成ルヘク手ヲ出ササルコト(犯人檢舉ニ際シテハ他ニ實害ナキ限り豫メ支那當局ニ通知スル程度ノ妥協的態度ニ出ツルコト)刑事被告人又ハ被疑者タル朝鮮人ノ押送、令狀ノ執行又ハ逮捕ニ當リテハ成ルヘク支那側ニ目立タサル方法ヲ講スルコト等ノ諸點ニ付キ一層之カ勵行ヲ期スルコト

二 我警察官中ニハ支那ノ事情又ハ語學ニ通セサル者アリ之力爲自然支那官民ト意思ノ疎通ヲ缺キ些細ナル原因ヨリ意外ノ事端ヲ惹起シタル事例渺カラス又地方ニ於ケル鮮支人間ノ紛争事件ニ對スル處置振ヲ見ルニ我警察官ハ動モスレハ事情ヲ究メスシテ直チニ鮮人側ヲ支持シ又ハ時ニ支那人側ヲ威嚇セムトスルカ如キ態度ニ出テタル爲支那側ノ反感ヲ買ヒ却テ事ヲ紛糾セシメタル事例無キニ

支ハ共産主義運動者又舞入頭盜等重大罪犯、急務以求捕特使ヲハ番金三、二萬三以ハ易居モ一報捕獲オミテハ口を閉キ(輸入頭盜等未聞)此等ニ就キハ専門警察又官吏ニ付キハ密半走且因日韓眞捕頭

捕

諸省頭又省議会等々遊撫撫民等々本務省承認監督員等漢陽申詔リト要ニせば其ハ三司管轄省察院官ニ據ニ首當ハ頭盜急務等ニ當リ等ハ至國體ヘ突触アリヨ景福ヘ裏獄ニ置キ全奏書ニ據ルニ舉出スルハ謂て我過失ニ付ヤハ其警察署ヘ省城上八道急ニ期マキハ審准武昌同日指揮ヲ付ス

表參書

80

人間ニ支那ニ及バ朝ニ支那入附シテ諸國ニシテ其國人數百出
旗羅國天皇ニニ露營秦晉ニ連合シテ之ノ軍營ニ置キル事ニ日
之及ル華國也此又雖古ニ然モ其支入間ノ每年事皆ニ被ニ治
支那官吏ノ意思ノ裏臥也特半邊略士少則因ニリ意我ノ軍營ニ蒙國
營營中ニハ支那ノ軍營又ハ醫學ニ通スセリ蓋トセラ故也歐自盤
之輪六百四十卷ハ漢語ニ對半一卷次ニ轉音ニ翻六百四十

御前總理ニ出立此日ノ同頃事務告人又ハ封鎖皆是本國輸入ノ駕籠
等ニ繩之キハ駕ニ實轎也。辛賀リ駕又安藤當風ニ照喚ス。本懸賞ノ發
送並舉又ハ音頻縣ニ搜之キハ難少ヘテ之等ニ出世セシ七十餘人等

非ス依テ此際支那官民ニ對スル言語態度及處遇方等ニ付キ充分警
察官ヲ指導教養スルノ要アルト共ニ公館長及警察署長等ノ幹部ニ
於テモ平素支那官憲及軍隊等ト密接ナル接觸ヲ保チ友好關係ノ維
持ニ意ヲ用ウル必要アリ

（特ニ支那側ト接觸ノ機會多キ分署長ニ在リテハ前記ノ必要最モ
大ナルモノアルモ經費ノ關係ヨリ自然引込主義ニ陥リ支那側トノ
交際意ノ如クナラス連絡協調上遺憾ノ點渺カラサルヤニ認メラル
ルニ付本年度内ニ於テ警察渡切費分署一箇所平均月額二十圓ノ割
ニテ

豫防警察上馬賊、鮮人匪賊及共產主義者等ノ動靜ニ關スル情報ハ
必要ニ應シ支那側ニ通報シ支那官憲ヲシテ事前ニ適切ナル警戒取

ニ關スル具體的事實ヲ擧ケ地方責任當局ノ注意ヲ喚起シ必要ノ手配ヲ爲サシムル様之ヲ督勵スルコトヲ要ス

多大ノ效果ヲ擧ケ得タルハ御承知ノ通ナリ)

四 鮮人匪賊シ取締ニ關シテハ本年三月四日附訓達ノ趣旨ニ依リ一層
精勵セラレ遺漏無キヲ期スルヲ要ス殊ニ現下ノ情勢上支那責任當
局ノ態度ヲ監視セラレ地方軍警トモ一層連絡協調ヲ密ニシ匪賊ノ
乗スル機會無カラシムル様此上トモ充分ノ手配ヲ要ス
五 馬賊團及鮮人匪賊ノ動靜並地方治安ニ關係アル情報ノ蒐集ニ更ニ
力ヲ竭シ以テ事件ノ發生ヲ未然ニ防止スルコトハ警察力ノ不足ヲ

三

185

SP. 236

B-0036